

—武道の心得—

[武道は教育である]

そろばん・学習塾といった教育、ピアノ・絵画など文化、拳法・空手・柔道・剣道、そしてダンス・スイミング・サッカー等のスポーツ。習い事として分ける時、この様に分ける方が多いのですが、スポーツと武道は同じではありません。また武道と格闘技も異なります。傍から見れば同じ様に映るかもしれませんが、スポーツは楽しむものという意味で武道は教育に属しています。

[武術は基本的に単独練習]

誰かが入門したから私も、仲間が辞めるから私も。仲間が減ったからやる気が低下した。この考えでは武道の習い事の効果は出ません。武道はあくまで自分の為に行うもの。ボディービル（筋トレ）と同じです。仲間がいれば対練やフォームチェック、相談も出来ますが、それはあくまでプラス α 。

道場で指導者に練習方法を教わり自宅で練習するものです。

[長期継続してこそ]

社会人なら仕事、学生なら塾や他の習い事、進学、部活動。それらが練習日と重なった場合、まず最初に武道を辞める選択肢をお持ちの場合は、武道はお勧めできません。武道は生涯教育とも言われ、長期継続により高い精神力と技術、社会性を身に付けてゆくもので心の修行が主です。短期的に突きや蹴り等の技術を身に着きたい等でしたら格闘技が良いでしょう。細く長く、休んでも辞めない精神が一番大切です。

[武道は]

厳しい、堅苦しい、そういった環境にあえて身を置き、精神と共に技術を身に着けてゆくもの。

そこを理解し、腹をくくり入門してください

—礼儀とマナー/練習生の皆様—

公民館でもスタジオでも道場である事を忘れず、出入りの際は場礼を正しく行ってください

(帽子を脱ぐ・荷物を置いて合掌礼又は 30 度で一礼)

遅れて来場した時は、壁に向かい 1 分座禅してから練習に参加しましょう

師や仲間への返事挨拶を行い、言葉遣いは正しいか、発言が正しいかを意識しましょう

帯を正しく結び、道衣に乱れが無いようにしましょう

やむを得ない場合を除き、トイレは稽古前に済ませて下さい

やむを得ない事情を除き、練習中は携帯電話の電源を切ってください

遅刻や体調不良での欠席連絡は事前に指導員や施設にお知らせください

道場だけ出来て、家庭、職場/学校で礼儀マナーが悪ければ意味がありません

ネット、SNS やメールでも礼儀やマナーを意識してください

—礼儀とマナー、他/保護者の皆様へ—

我が子の練習の動画撮影は OK ですが、練習を見ずスマホをいじるのは NG です

見学中は携帯電話はマナーモードにしてください

我が子の前で保護者が正しい挨拶、言葉遣いの模範をして下さい

万一退会する事になった時 SNS やメールだけ、施設側だけに連絡する事は絶対にしてはいけません

「子は親の鏡」学校の先生や習い事の先生と比較にならないぐらいの影響を親から受けます

子どもの身長や能力と違い、性格などの精神面の成長には長い下積みが必要と知ってください

我が子から辞めたいと言われた時、叱らず、あきらめず「継続の大事さ」を諭して下さい